

平成24年7～9月期の鉱工業指数

— 生産・出荷ともに2期連続して低下 —

1 概要

平成24年7～9月期の埼玉県鉱工業指数（X-12-ARIMAの中のX11-デフォルトによる季節調整済、平成17年平均＝100）は、前期と比べ生産及び出荷は低下し、在庫及び在庫率指数は上昇した。

前年同期比においては、生産及び出荷指数は低下した。

	埼玉県			全国		
	指数	前期比 (%)	前年同期比 (%)	指数	前期比 (%)	前年同期比 (%)
生産	82.7	▲7.2	▲5.8	89.5	▲4.2	▲4.6
出荷	77.0	▲9.8	▲5.6	90.1	▲5.4	▲4.5
在庫	98.1	8.0	35.4	107.8	0.3	4.8
在庫率	140.2	17.6	50.3	127.9	5.0	9.8

注) 前年同期比は原指数、在庫指数は期末値

2 鉱工業指数の推移(季節調整済指数)

	生産		出荷		在庫	
	指数	前期比 (%)	指数	前期比 (%)	指数	前期比 (%)
22年Ⅲ期	92.2	▲0.6	88.3	▲1.8	68.6	1.3
Ⅳ期	91.1	▲1.2	85.3	▲3.4	80.2	16.9
23年Ⅰ期	89.9	▲1.3	84.7	▲0.7	76.8	▲4.2
Ⅱ期	90.9	1.1	81.6	▲3.7	72.8	▲5.2
Ⅲ期	87.8	▲3.4	81.6	0.0	72.5	▲0.4
Ⅳ期	87.9	0.1	82.8	1.5	59.1	▲18.5
24年Ⅰ期	95.4	8.5	91.9	11.0	94.5	59.9
Ⅱ期	89.1	▲6.6	85.4	▲7.1	90.8	▲3.9
Ⅲ期	82.7	▲7.2	77.0	▲9.8	98.1	8.0

3 上昇・低下に寄与した主な業種及び品目

(1) 生産 (5業種上昇 17業種低下)

上昇した主な業種	情報通信機械工業 11.8% (0.3%)	携帯電話
	窯業・土石製品工業 2.8% (0.1%)	ガラス基礎製品
低下した主な業種	輸送機械工業 ▲35.3% (▲4.8%)	乗用車
	一般機械工業 ▲4.3% (▲0.5%)	空気圧機器
上昇した主な品目	半導体製造装置(一)、携帯電話(情)、食缶(金)、機能部品(電子)、化粧品(化)、ポンプ(一)	
低下した主な品目	乗用車(輸)、自動車エンジン(輸)、空気圧機器(一)、混成集積回路(電子)、医薬品(化)、普通トラック(輸)	

(2) 出荷 (7業種上昇 15業種低下)

上昇した主な業種	情報通信機械工業 9.7% (0.4%)	携帯電話
	窯業・土石製品工業 3.7% (0.1%)	ガラス基礎製品
低下した主な業種	輸送機械工業 ▲38.3% (▲9.4%)	乗用車
	一般機械工業 ▲5.6% (▲0.5%)	空気圧機器
上昇した主な品目	携帯電話(情)、半導体製造装置(一)、機能部品(電子)、食缶(金)、化粧品(化)、スチール・ステンレスシャッター(金)	
低下した主な品目	乗用車(輸)、自動車エンジン(輸)、空気圧機器(一)、普通トラック(輸)、輸送機械用エアコン(輸)、医薬品(化)	

(3) 在庫 (10業種上昇 11業種低下)

上昇した主な業種	輸送機械工業 57.9% (21.2%)	乗用車
	パルプ・紙・紙加工品工業 15.1% (0.5%)	段ボール原紙
低下した主な業種	電気機械工業 ▲16.6% (▲2.0%)	クッキングヒーター
	プラスチック製品工業 ▲7.8% (▲0.8%)	プラスチック製建材
上昇した主な品目	乗用車(輸)、鉛蓄電池(電)、シャープペンシル(他)、食缶(金)、電話機(情)、段ボール原紙(パ)	
低下した主な品目	クッキングヒーター(電)、電気掃除機(電)、はん用内燃機関(一)、ガラス基礎製品(窯)、印刷インキ(化)、プラスチック製建材(プ)	

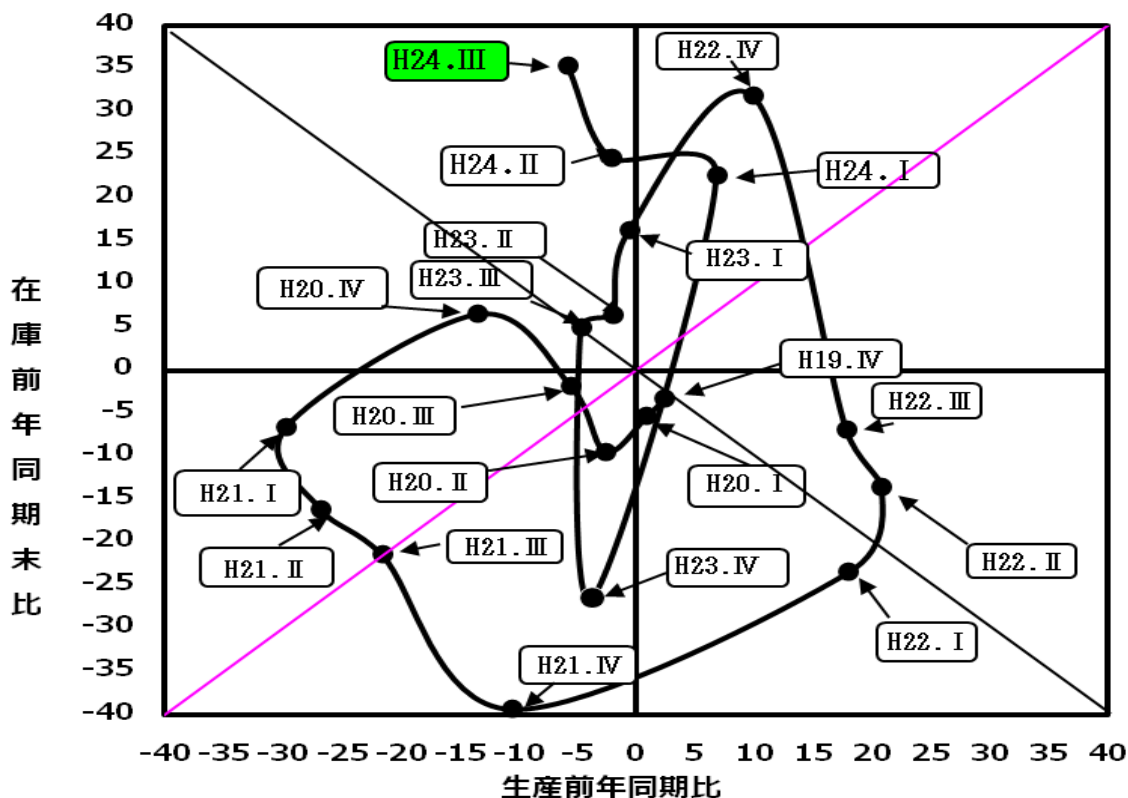
注1) 上昇・低下した業種には、産業総合、鉱工業総合、製造工業総合、その他工業総合、公益事業を数えていない。

2) 数値は対前期、()内は寄与度。

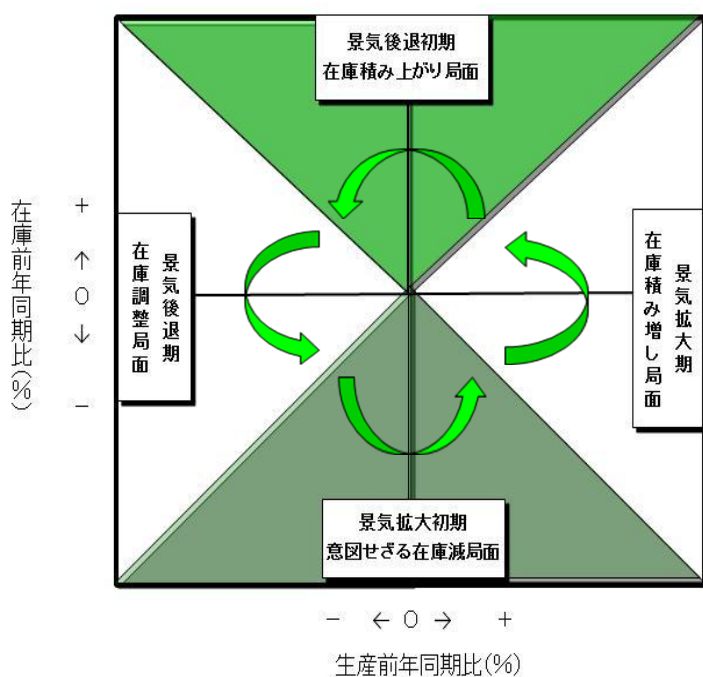
3) 上昇及び低下した主な品目別の()内略称については、別添の業種分類別表を参照。

4 埼玉県在庫循環

埼玉県在庫循環図



参考 在庫循環図説明



在庫循環図は、企業の生産と在庫の関係を示しています。在庫の変動は生産活動に大きな影響を与えるため、この図は景気の局面を判断する際に有効とされています。

一般的には、在庫局面は
 ①意図せざる在庫減局面
 ②在庫積み増し局面
 ③在庫積み上がり局面
 ④在庫調整局面
 の4つの局面を循環していくことになります。